⑷　長期借入金

元利金の合計額を新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しており、レベル２の時価に分類しております。

⑸　長期未払金

支払期間及び信用リスクを加味した利率で割り引いて算定する方法により算定しており、レベル２の時価に分類しております。

（収益認識に関する事項）

当法人は、以下に記載する内容を除き、会計基準第77における収益に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

⑴　収益の分解情報

当法人は教育・研究・診療業務及びその他の事業を実施しており、基準第77を適用する取引に係る主なサービス等の種類と収益の額は、附属病院の診療による附属病院収益35,740百万円であります。

⑵　収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

（賃貸等不動産に関する事項）

当法人は、長崎市文教２団地等において、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

（退職給付に関する事項）

Ⅰ．採用している退職給付制度の概要

当法人は、職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度及び国家公務員共済組合法の退職等年金給付制度を採用しております。非積立型の退職一時金制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しており、附属病院収入により雇用する有期雇用ではない職員については、原則法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

また、附属病院収入又は寄附金収入により雇用する有期雇用の教職員については、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

Ⅱ．確定給付制度

⑴　退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表（⑵に掲げられたものを除く）

期首における退職給付債務	1,259,654千円
勤務費用	157,032千円
利息費用	20,154千円
数理計算上の差異の当期発生額	－241,691千円
退職給付の支払額	－38,711千円
期末における退職給付債務	1,156,437千円

⑵　簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	137,438千円
退職給付費用	44,788千円
退職給付の支払額	－26,662千円
期末における退職給付引当金	155,564千円

⑶　退職給付債務及び貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

非積立型の退職給付債務	1,312,002千円
未認識数理計算上の差異	546,332千円
未認識過去勤務費用	86,244千円
退職給付引当金	1,944,580千円

⑷　退職給付に関連する損益

勤務費用	157,032千円
利息費用	20,154千円
未認識数理計算上の差異の当期の費用処理額	－32,720千円
過去勤務費用の費用処理額	－14,092千円
簡便法で計算した退職給付費用	44,788千円
合計	175,162千円

⑸　数理計算上の計算基礎に関する事項

割引率　2.2％

Ⅲ．退職等年金給付制度

当法人の退職等年金給付制度への要拠出額は、161,779千円であります。

国立大学法人熊本大学令和６事業年度財務諸表に関する公告

国立大学法人法（平成15年法律第112号）第35条の２において準用する独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第38条第３項の規定に基づき、国立大学法人熊本大学令和６事業年度財務諸表について次のとおり公告します。

令和７年10月17日

熊本県熊本市中央区黒髪二丁目39番１号
国立大学法人熊本大学
学長　小川　久雄

貸　借　対　照　表

（令和７年３月31日）　（単位：円）

勘定科目	金額	
資産の部		
Ⅰ．固定資産		
１．有形固定資産		
土地		45,412,093,081
建物	95,255,113,873	
減価償却累計額	△58,191,206,847	
減損損失累計額	△　494,507	37,063,412,519
構築物	6,042,802,475	
減価償却累計額	△3,739,534,752	2,303,267,723
機械装置	324,766,212	
減価償却累計額	△　278,599,543	46,166,669
工具器具備品	56,640,732,165	
減価償却累計額	△48,350,598,030	8,290,134,135
図書		4,046,231,860
美術品・収蔵品		169,861,943